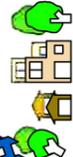




地域なんでも情報局



第30号
平成30年3月15日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号
☎095-828-1281

小江原小学校支援活動グループ「ゆかい」

今回の特集では、小江原小学校区で行われている子どもと地域住民(元気なシニア層)との交流の取り組みをご紹介します。

平成28年7月に地域に暮らす住民(有志)によるボランティアグループ『小江原小学校支援活動グループ「ゆかい」』が発足し、メンバーの皆さんは毎週月曜日と金曜日の昼休み時間30分間を「ゆかい」の活動のために開放された空き教室で、子ども達とオセロ・将棋・お手玉・折り紙、剣玉などで遊びます。運動場では子ども達と一緒にグラウンドゴルフを楽しみます。昼休み終了の合図で各々がお片づけを行い、「ゆかい」の教室は隣の一年生が積極的に掃除してくれるそうです。「いつもお掃除してくれてありがとう」とお礼を伝えると、「どういたしまして」と子ども達は、はにかみながら嬉しそうな表情を浮かべるそうです。「子ども達の健やかな成長の一助になれば」との思いで始めたが、子ども達とのふれあいで自分たちもたくさん元気をもらっている。「と語る「ゆかい」の皆さん。最近では校外で会った時にも子ども達から声をかけてもらえるようになってきたそうです。



グラウンドゴルフ



大賑わい



コマ回しの特訓中



おじちゃんの手ほどきで、腕前がどんどん上達!



「ゆかい」の皆さんです

※メンバーは17名いらっしゃるそうです

3年生の地域安全マップづくりに参加
H30.2.2



また、「ゆかい」の皆さんは子ども達とふれあう時、名前を呼ぶように心掛けています。子ども達も真摯に自分に向き合ってくれる大人にいろいろな話をしてくれるようになり、先生方からも「ありがとうございます」の言葉をいただき、嬉しい気持ちになるそうです。地域のいろんな大人が様々な形で子ども達の成長の過程に関わるこの取り組みは、子ども達の成長のみならず地域に暮らす大人側にも多くの気づきや学びを与えているのではないかと今回の取材を通して感じました。これからも末永くこの取り組みが続いていくことを祈っています。

伊王島地区「困ったときはお母さまー」さりげない見守りのネットワーク

伊王島地区では、高齢になっても地域で安心して暮らし続けていくことを目的に、日頃から「さりげない見守り」を行う『見守りネットワーク活動』が行われています。

2月18日(日)、この見守りネットワーク活動を地区の皆さんに知っていただくことと、改めて地域で見守り合うことを考える場として研修会が開催されました。これは日頃から見守り活動を行っている見守り委員の皆さんで企画運営し、当日は、認知症のおばあちゃんの見守りをテーマにした朗読劇と、主題を「みんなで見守りの視点を持つ」と銘打ったシンポジウムが行われました。

朗読劇には、実際に活動している見守り委員をはじめ、



朗読劇 熱演! みんなで支える最初の一步

伊王島地区は全人口のうち約55%が65歳以上となっています。伊王島支部でも高齢者を対象にした毎月のサロン活動や、年に1回のふれあい弁当の調理・配達などに取り組んでいます。活動の中心を担っているメンバーも65歳以上のいわゆる高齢者。見守る方、見守られる方が分かれることなく、「困った時はお互いさま」の気持ちで支え合っていくことが、安心できる地域づくりに繋がっています。



手作りお弁当の配布



※当会ホームページから「地域なんでも情報局」バックナンバーがダウンロードできます! 「長崎市社協 地域なんでも情報局」で検索下さい。

日見つ子アフター・スクール 月

毎週木曜日の放課後、日見小学校では授業が終わると、各学年から続々と子どもたちが図書室に集まってきます。子どもたちは、先生よりちょっと年上のおじちゃん・おばちゃんたちと挨拶を交わした後、図書室の机にノートを広げ、宿題を始めます。



みんなで宿題！

この光景は、一昨年の3月から開始された『日見つ子アフター・スクール』（以下、「スクール」）の様子です。日見小学校に通う子どもは申込みをすれば誰でも参加できます。現在、登録人数は100人を超え、毎回90人程の子どもたちが参加しています。「スクール」に来た子どもたちはまず、学校から出た宿題に取り掛かり、わからない問題を友達同士教えあったり、サポートの方の聞いていたりして解いていきます。宿題が終わるとお待ちかねのフリータイム！それぞれがやりたい遊びをするために散っていきます。体育館や近所の公園に行ったり室内でオセロやけん玉で遊ん



宿題が終わったあとはみんなで仲良く遊びます



だりと思いいいに過ごします。楽しい時間はあっという間に過ぎ、いつの間にか帰る時間。『〇〇のおじちゃん、さようなら』『また来週ね！』笑顔で元気よく言葉を交わす子どもたち。子どもが集団で遊ぶことが少なくなったと言われる今、こんなにもいきいきと遊ぶ子どもたちを見ると、友達同士や集団で同じ時間を共有することの大切さを感じます。そして、この「スクール」を支えるサポーターは有志のボランティアの方々担っており、子どもたちの遊び友達になったり、勉強を教える先生になったり、時には悩みを抱える子どもの相談を受ける親代わりになったりと、親身になって活動されています。日見地区の子どもたちは日見地区全体で育て、子どもたちに日見で育つ幸せを感じて欲しい。その願いを込めた活動によって、日見地区には今日も子どもたちの元気な声が響きます。

H29年度 高齢者支援スタッフ研修会

2月26日、長崎県勤労福祉会館にて、支部主催のふれあい食事サービスマスター・高齢者ふれあいサロンの従事者を対象とした研修会「高齢者支援スタッフ研修会」を開催しました。



テーマに沿って自由に意見交換を行いました。

この研修会は、食事サービスマスターの従事者が一堂に会し、地域で高齢者を支える中で必要となる知識・技術の習得と市内各地で実施される活動の情報交換を目的としています。

今年度は、もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会中島より子理事長を講師に招き、活動を安全に行えるよう、ケガや事故発生時の対処・予防の方法についての意見交換と転倒予防・筋力アップにつながるレクリエーションを行いました。意見交換では、食事を提供する際の衛生管理や活動の行き帰りの事故・ケガの対応が心配だという意見や民間の保険に加入しリスク管理を行っているという工夫点を発表さ



♪あかりをつけましょ ほんほりに～ お花をあげましょ 桃の花～

れるグループもあり、各実施場所の活動状況や悩みの共有を行いました。後半は、楽しみながら筋力アップ！道具を使わずにできるレクリエーションとして「ひな祭り体操」や「じゃんけんスクワット」を行いました。その他、レクリエーション用具の紹介や活動中の事故防止のためにスタッフが気がかけて欲しい点など中島先生の軽快なトークも交えながら楽しく学ぶことができました。



レク用具は工夫次第で色々な遊びができます！

参加者の方々は、日頃から地域活動に積極的に参加いただいていることもあり、活発に意見が出されました。より安心・安全な活動が継続できるように市社協でも必要な支援を考えていきたいと思っております。

H30年度 長崎市社会福祉協議会会員募集

長崎市社協では、子どもから高齢者まで「誰もがふだんのくらしの中で、しあわせを感じられる笑顔あふれるまち」が「ささき」をみんなで作ることを目指して、様々な地域福祉活動を行っています。

長崎市社協で地域福祉活動の主旨に賛同し、社協の運営を財政的にご支援・ご協力いただける、ひとりでも多くの市民の皆さまに社協会員へご加入いただけますようよろしくお願いいたします。

今年も平成30年度の社協会員募集を4月から行います。

社協会費は、市民の皆さまの参加や協力によって地域福祉活動を進めるために重要な役割を果たしています。会員になっていただくことで社協が行う福祉活動を資金面で支え、地域福祉活動にご参加いただくことにもつながります。社協が進め

社協会費の種類と金額	
賛助会員(個人)	1口1,000円
団体会員(法人・事業所)	1口3,000円

お申し込み・お問い合わせは業務係まで



市社協が進める「福祉体験学習」

高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座について



長崎市では、毎年、高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座を開催しており、現在までに1100名程の方が修了されています。また、同養成講座修了者を含む760名程の方が高齢者ふれあいサロン等においてボランティア活動をしています。

- ①週1回開催型・・・53箇所
 - ②月1～2回開催型・・・101箇所
- ※平成30年2月20日現在